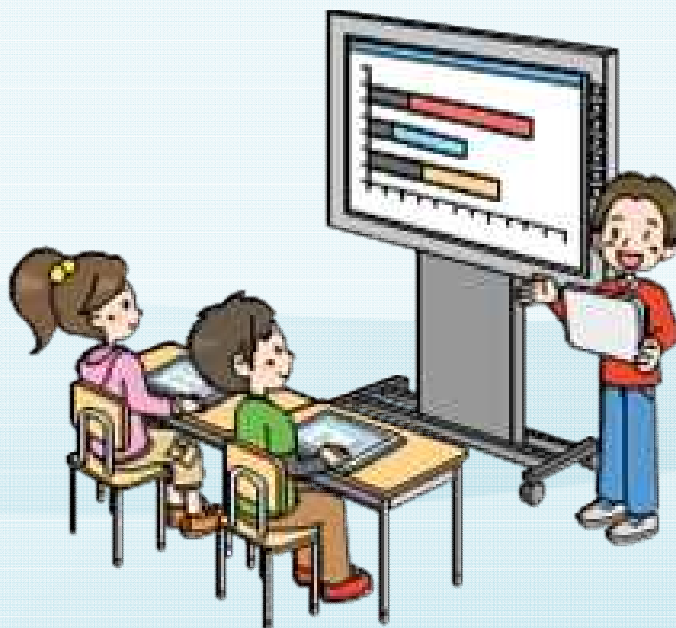




# 令和の時代に生きる子どもの「育ち」「学び」 についての視点より





確かな学力

知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力など

〔生きる力〕

自らを律しつつ、  
他人とともに協調し、  
他人を思いやる心や感動する  
心など

たくましく生きるための  
健康や体力

豊かな人間性

健康・体力

## 確かな学力の3要素(新しい時代に必要となる資質・能力)

主体性  
関心をもち、粘り強く

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

知識・技能は獲得だけでなく、積み重ねるイメージ

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

知識を関連付ける 対話を通じた  
深い理解 思いや考えを創造し伝える



# 安来市が目指す学校教育



## 安来市教育大綱の推進

授業改善(確かな学力の育成)  
・個別最適な学び  
・協働的な学び

保幼小中連携の充実

特別支援教育の充実

地域との連携・協働体制の構築

ICT活用教育

確かな学力を  
育てる教育

豊かな心を  
育てる教育

ふるさと教育

健康な心身を  
育てる教育

「しまね教育魅力化ビジョン」の推進

「学習指導要領」の着実な実施





# 令和の時代に生きる子どもの「育ち」「学び」 についての視点

## 「安来市立小中学校適正配置基本方針」から

- (1)「生きる力」を育む教育の推進(確かな学力・ICT教育・ふるさと教育)
- (2)保幼小中連携・一貫教育の推進
- (3)特別な支援を必要とする子どもたちへの支援の充実



# 確かな学力の育成－授業改善について－

## ◆安来市が目指す授業改善

### ・安来市教育大綱の実現(確かな学力の育成)

基礎学力の定着

「魅力ある学校づくり」の推進

ICT活用教育の推進

グローバル教育の推進

### ・学習指導要領の着実な実施

「主体的・対話的で深い学び」

「社会に開かれた教育課程」

「カリキュラムマネジメント」

◎知識・技能の習得

◎思考力・判断力・表現力の育成

◎学びに向かう力、人間性等の涵養

### ・しまねの学力育成推進プランの実施

「学ぶ力・学んだ力を高める授業の推進」

「学力と学習状況の分析に基づく授業改善」

「教員の指導力向上のための指導・研修の充実」

### ・中央教育審議会答申における方向性の確認と実施

「個別最適な学び」、「協働的な学び」の充実

「ICT活用教育」の充実



## 安来市学力育成プロジェクト(令和4年度～6年度)

### モデル校

・荒島小学校 ・第三中学校

指定校児童(小4)・生徒(中1)の経年変化調査

算数・数学・理科

## 安来市学力育成会議

PTA・地域

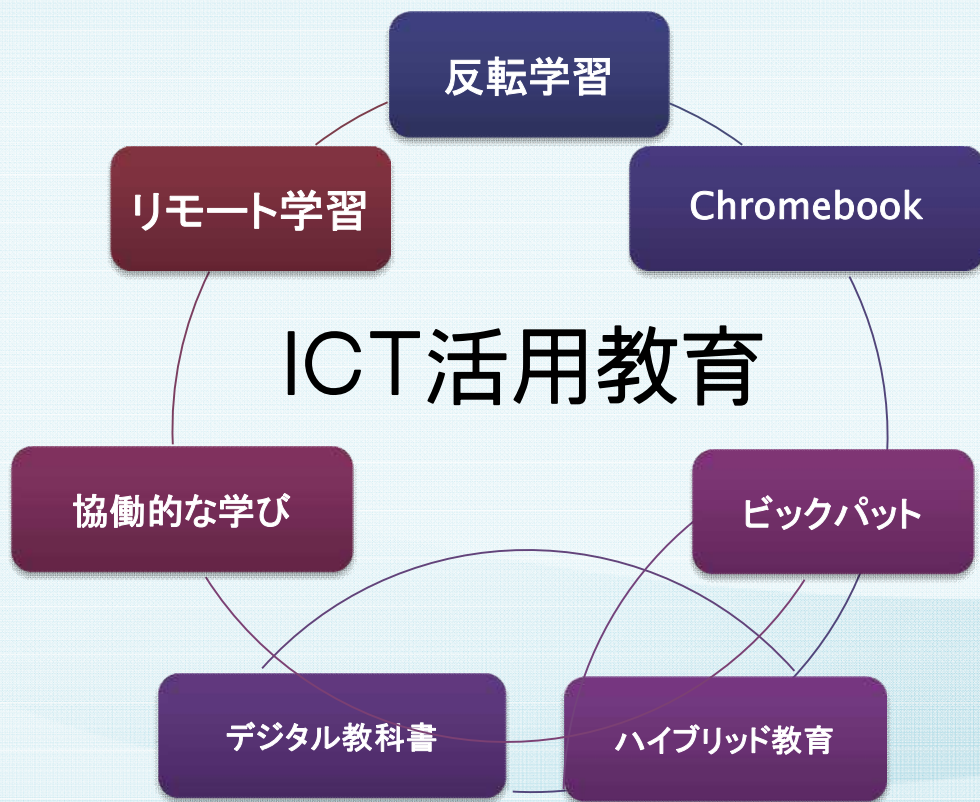
安来・情報科学高校

県・市教委

安来市教育研究会



ICT活用教育とは;情報活用能力を、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け「情報活用能力」情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人の基礎的な力の育成



## 小学校におけるプログラミング教育

## 中学校技術・家庭科「情報の技術」

プログラミングを体験しながら、コンピューターを意図的に動かす論理的な思考を身につける。

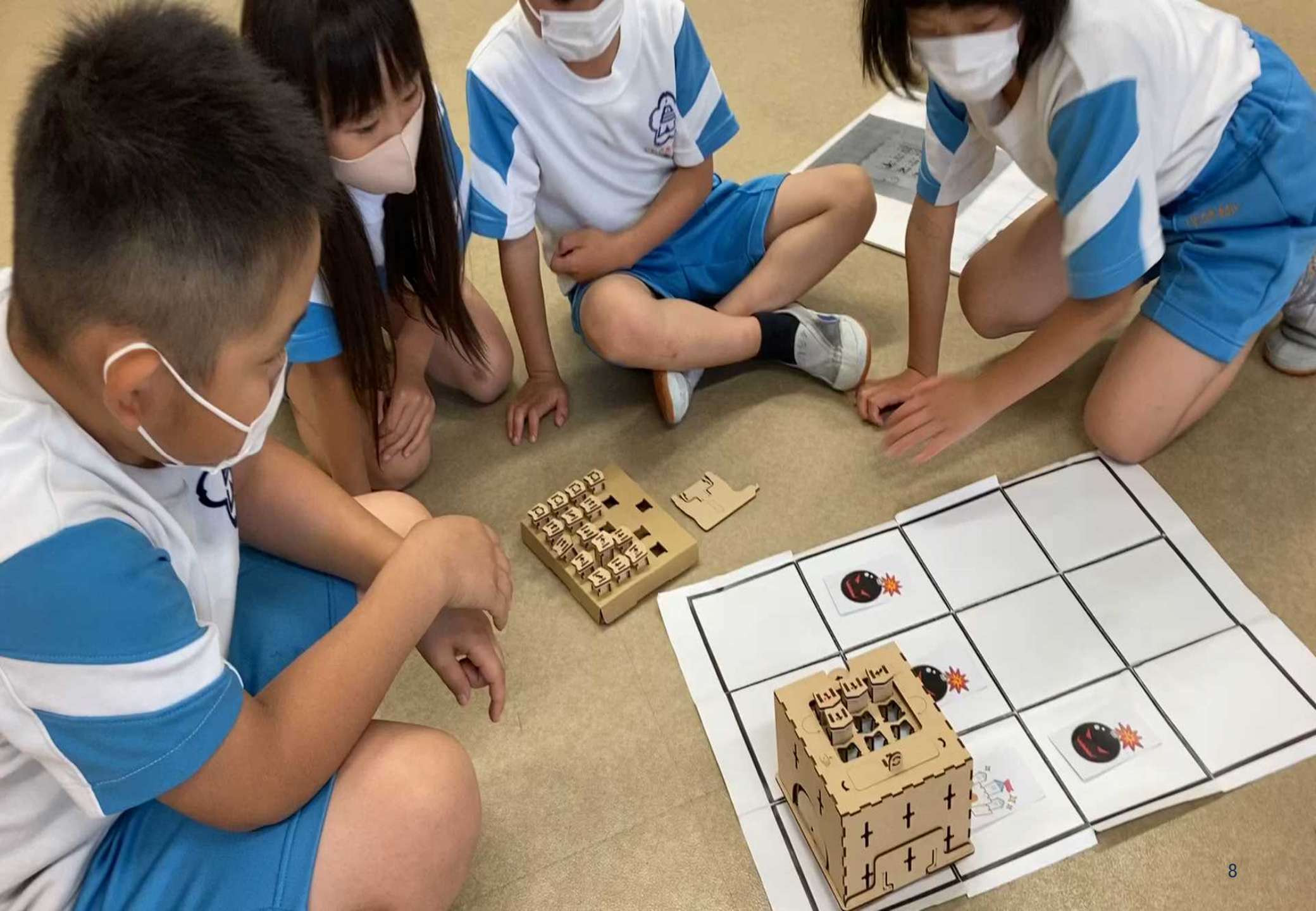
- ▽ 自分の考えを表現させること
- ▽ 情報を整理させること
- ▽ 情報手段の特性に応じた伝達およびコミュニケーションを行わせること

2024年度～ 大学共通テスト科目 「情報1」 必須

安来市の取組:

ICT教育指導講師の配置、pepperの活用、研究校区の指定、教員の研修、情報科学高との連携







## 安来市のふるさと教育

ふるさとに愛着を持ち、貢献しようとする心や態度を育むとともに、  
広い視野と国際的な感覚を持った子どもを育みます。

### 特色ある教育事例

学校名	学年	教科	単元名	地域教育資源
能義小ほか	5	総合的な学習	安来節・銭太鼓・ドジョウすくいの歴史を学び、披露しよう	安来節 安来節演芸館
十神小ほか	5	総合的な学習	鉄の町安来	和鋼博物館 日立金属安来工場
荒島小ほか	5	総合的な学習	梨づくりを学ぼう	梨農家
	3	社会科	農家の仕事	
赤屋小	5・6	総合的な学習	学校林を復活させよう	学校林
布部小ほか	5・6	総合的な学習	ふるさとの偉人	加納莞菴
			平和学習	加納美術館



# 保幼小中連携・一貫教育の推進

## ◆保幼小との連携

- ・スタート・アップロード プログラムの作成
- ・保幼小連携推進研修の実施(年2回)



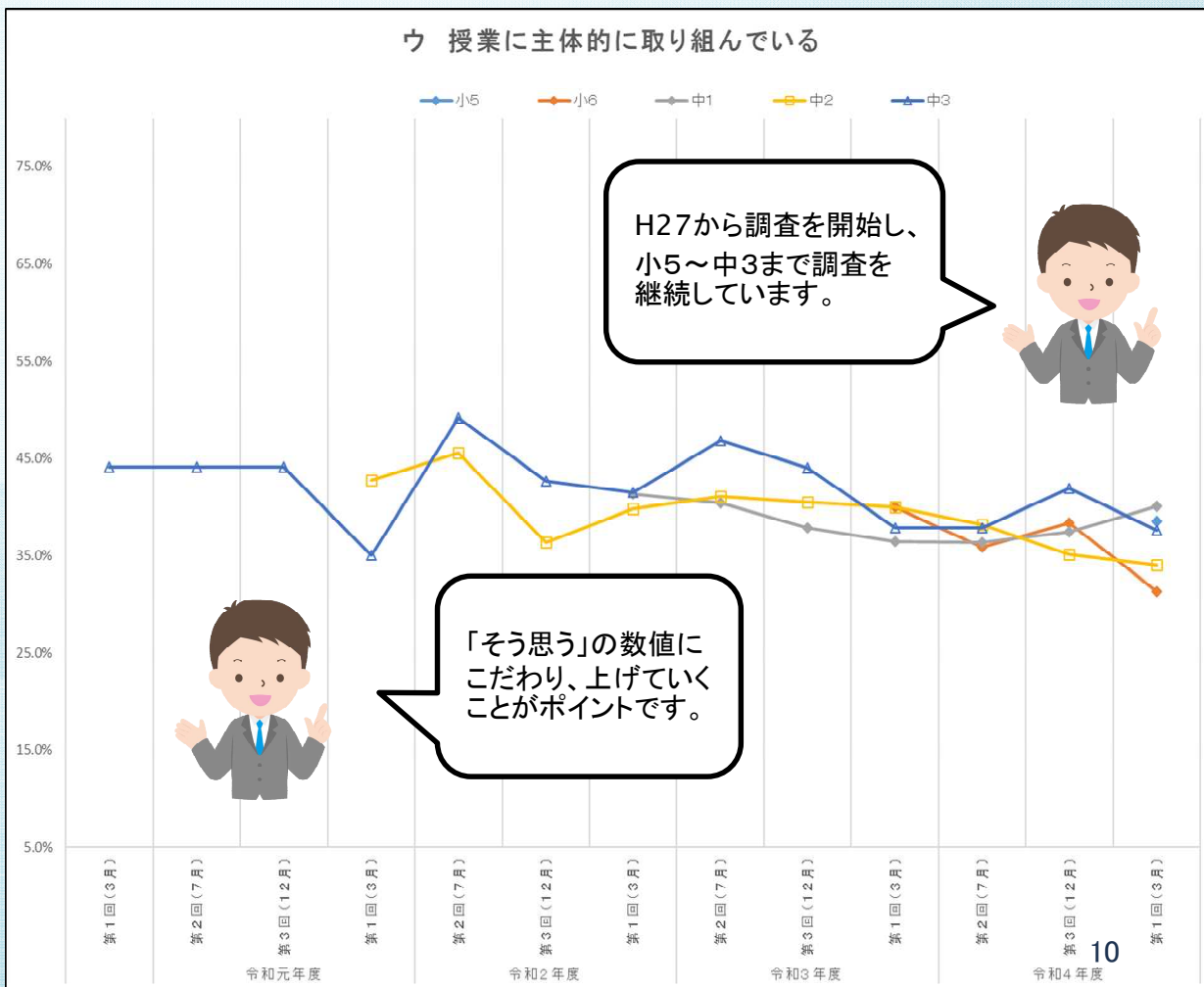
次頁に掲載

## ◆小中の連携(連携教育推進事業)

- ・校区の育てたい子ども像を共有
- ・児童生徒の意識調査の実施(年3回)  
魅力ある学校づくり  
PDCAサイクルの構築
- ・各校区における小中(保)の交流活動
- ・各校区における教職員の研修の実施



ウ 授業に主体的に取り組んでいる





**アプローチプログラム  
(就学前施設の取組)**

幼稚園や認定こども園、  
保育所等の施設において、  
活動のねらいや就学まで  
に身につけさせたい力を  
共有し、入学後の活動に  
役立てる。



年2回 情報共有

保幼小の連携は、接続  
期の移行を円滑に進  
めるためにとても重要  
です。

**活動のねらいや内容を共有**



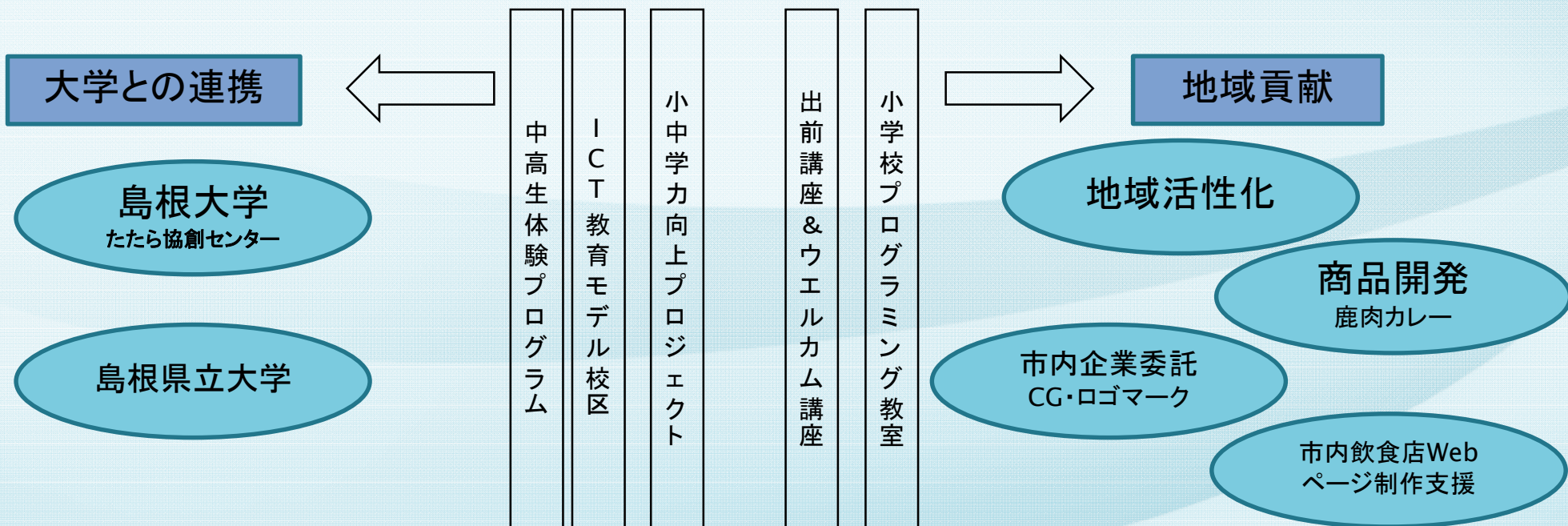
**スタートプログラム  
(小学校の入学後の取組)**

幼稚園や認定こども園、  
保育所等の施設における  
活動をふまえた就学後の  
ねらいや活動を伝える。





高校魅力化コンソーシアム:自治体、地元企業、教育機関など地域の多様な関係者と学校が共同体制を構築し、地域を学びの場とし、地域に開かれ、地域に必要なとされる魅力ある教育環境を創造する





# 事例:義務教育学校とは

## ◆義務教育学校の特徴

- ① 9年間の幅広い異年齢交流(豊かな人間性)
- ② 小中学校教員の協働による指導(学力向上と生徒指導の充実)
- ③ 9年間を見通した教育目標の明確化、系統立った教育活動の実施
- ④ 地域と連携したふるさと教育などの特色ある教育活動の展開

## ◆メリット

- ・校長 1 人分の配置枠を教諭として配置することで、教員 1 人分のゆとりが生まれる。
- ・中学校の音楽や美術、家庭科などの担当教員が小学校の指導に当たることも可能。それにより時間の余裕ができた小学校教員が中学校の授業に入り、学習の個別指導に対応することもできる。
- ・同じ学校にいる教員が小学校から中学校卒業までを継続して指導することで、1 人 1 人の生徒を良く知っている教員がいて、生徒指導や生徒の相談を充実させることができる。
- ・小学校の教員も理科や英語、体育などで中学校教員の専門的なアドバイスを受けて授業の準備をすることができる。
- ・小中学校の教員が一緒に授業の研究をしたり研修することで、それぞれの教育内容を共通理解し、小中の学習指導の継続性が高まる。

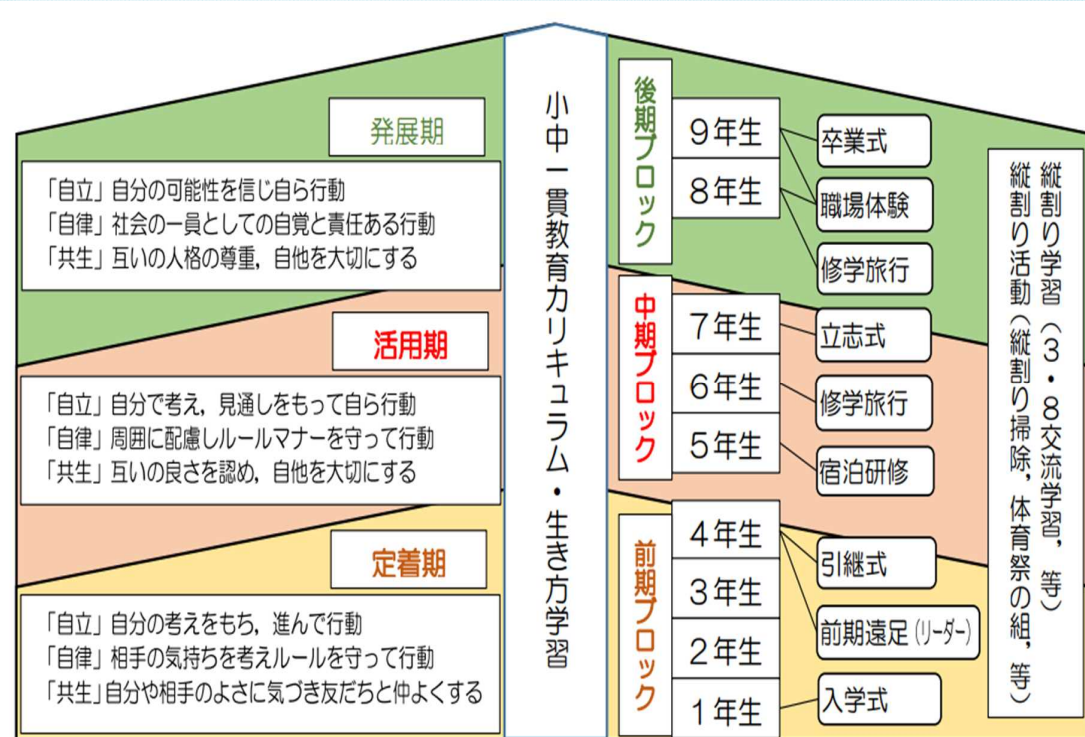


# 義務教育学校（施設一体型） 松江市立八束学園



学園訓：自立・自律・共生

令和4年度学園生会スローガン：「ALL FOR ALL～みんながみんなのために～」



## ● 学級編制

学年	1								9		すみれ	くすのき	ひまわり	わかば	あおば	計
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2						
男子	20	17	11	12	13	19	9	19	10	11	0	1	3	4	0	149
女子	9	10	14	14	8	16	12	15	10	9	1	0	0	0	2	120
計	29	27	25	26	21	35	21	34	20	20	1	1	3	4	2	269
P数	13	12	11	16	10	18	16	32	19	20	1	1	2	3	2	176

## ● 部活動

- 野球部、女子バレー部、卓球部、吹奏楽部
  - ・ 後期課程(7~9年生)の学園生で活動する。
  - ・ 6年生は2学期後半から仮入部し、それぞれの部活動を体験しながら希望する部活動を決定していく。



# 義務教育学校（施設分離型）

# 鳥取市立鹿野学園



## ● 学級編成

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
男子	15	12	12	21	12	9	14	11	6	112
女子	11	12	6	12	13	13	18	10	13	108
計	26	24	18	33	25	22	32	21	19	220



# 特別な教育を必要とする子どもたちへの支援

安来市の現状(令和4年度)

【通級指導教室】 ・十神小 ・南小 ・第二中 ・第三中 対象児童生徒数 小59人 中48人(R4.2現在)

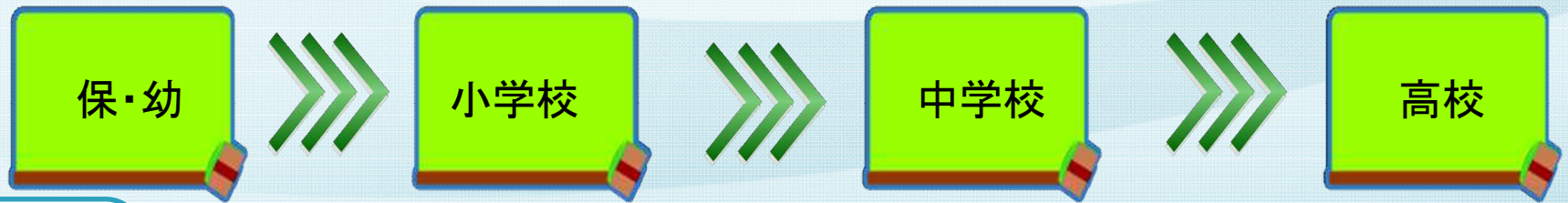
【小学校】 ・知的13学級 26人 ・自情15学級 45人 肢体不自由学級 1学級 2人  
 【中学校】 ・知的 5学級 12人 ・自情 6学級 29人 病弱・身体虚弱学級 2学級 4人  
 (R4.4現在)

支援員等

【にこにこサポートティーチャー】 7人+3人(にこ特)  
 【特別支援教育支援員】 18人+4人(学習支援員)



切れ目ない支援体制の構築



教育支援委員会

- ・移行支援会議
- ・保護者合同相談会
- ・就学移行支援  
(相談会、すこやか教室)

こども未来課  
教育委員会

教育支援センター

「安来市特別支援教育魅力化コンソーシアム」  
中学校、市内2高校、松江養護、松江緑が丘



# ◆ 令和の時代に生きる子どもの「育ち」「学び」から



子どもたちの適切な学びの環境は？

小中学校の適正規模、適正配置は？



ご議論をよろしくおねがいたします

